

平和祈念  
交流展

# シベリア抑留 ものがたり

ある漫画家のラーゲリでの体験



森林伐採作業で使用した手袋

マンガと合わせて関連するモノ資料を展示します。



抑留者が飢えに耐えかね、袖の部分をパンと交換した防寒外套



「美しかったシベリヤの星空」斎藤邦雄画

2023年7月1日(土) - 8月31日(木)

山の中の海軍の町 にしき  
ひみつ基地ミュージアム

多目的ホール 熊本県球磨郡錦町木上西 2-107

開館時間 ▶ 9:00 ~ 17:00

主催：錦町立人吉海軍航空基地資料館、平和祈念展示資料館(総務省委託)

後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本県錦町、錦町教育委員会

入場無料

多目的ホールのみ無料



山の中の海軍の町 にしき  
ひみつ基地ミュージアム  
(錦町立人吉海軍航空基地資料館)

熊本県球磨郡錦町木上西 2-107 TEL: 0966-28-8080 <https://132base.jp>

平和祈念展示資料館(総務省委託)

東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 33階

TEL: 03-5323-8709

<https://www.heiwakinen.go.jp>

平和祈念交流展

# シベリア抑留 ものがたり

## ある漫画家のラーゲリでの体験

平和祈念展示資料館（東京都新宿区）では、戦争体験者の労苦を伝える活動のひとつとして他館との交流事業を行っています。戦後78年を迎える今夏、錦町立人吉海軍航空基地資料館（熊本県錦町）と連携し展示会を開催します。

戦争が終結したにも関わらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルへ連れて行かれ、乏しい食料と劣悪な生活環境の中で過酷な強制労働に従事させられた「戦後強制抑留者」。その中の一人、斎藤邦雄さん（1920 - 2013年）は、帰国後に自身の抑留体験をマンガにしました。本交流展では、3年間のラーゲリ（収容所）での生活を描いた斎藤さんのマンガ作品と、抑留者たちの命を支えたモノ資料を展示します。平和祈念展示資料館の所蔵資料を通して、「シベリア抑留者」の記憶に触れてみませんか？

また展示会場内では、斎藤さんが描いたマンガをもとに制作したアニメ作品『シベリア抑留ものがたり』とご自身の証言映像をあわせて上映します。



「雪の中作業に向かう日本兵」 斎藤邦雄画



「美しかった星空」 斎藤邦雄画



収容所から日本の家族へ宛てた俘虜用郵便葉書



寒さをしのぐために作った靴下



関連イベントのご案内（予約不要・参加無料）

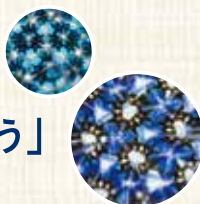
### 平和祈念展示資料館の学芸員による ギャラリートーク

▶7月1日(土)、2日(日) ▶8月5日(土)、6日(日)  
各日11:00～/13:00～〈約30分〉

### ワークショップ

#### 「ビー玉で星空まんげきょうを作ろう」

▶8月5日(土)、6日(日) 9:00～16:00



### 平和祈念展示資料館

平和祈念展示資料館は、第二次世界大戦における兵士、戦後強制抑留者（シベリア抑留者）、海外からの引揚者について、広く知っていただくための展示施設です。他館と連携した交流展や巡回展を全国で開催しています。



資料館入口



戦後強制抑留コーナー



@heiwakinen



会場

山の中の海軍の町 にしき ひみつ基地ミュージアム 多目的ホール

〔お車でお越しの際は、地図アプリ等でのナビを推奨します〕